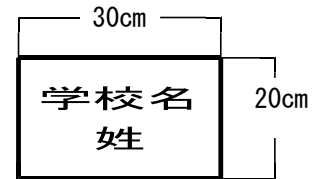
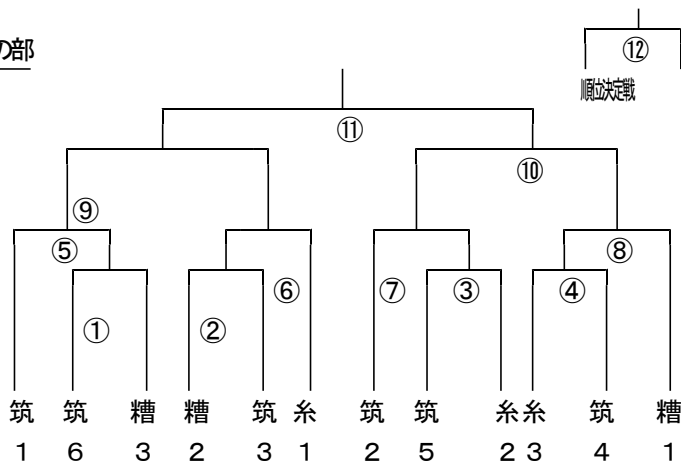


バドミントン大会要項

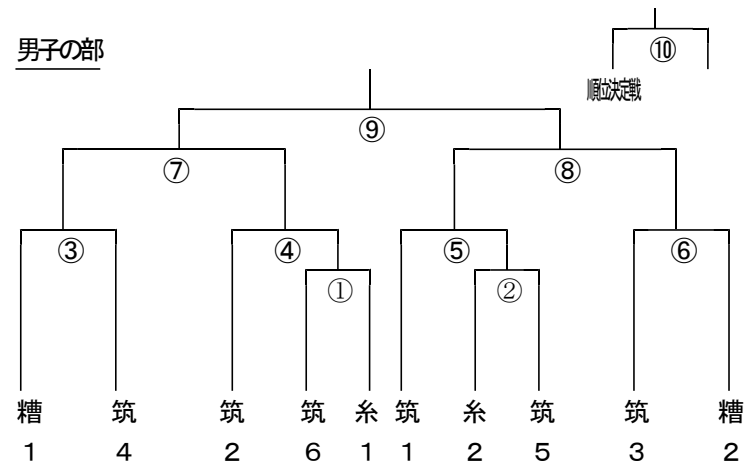
- 1 大会名 第40回 筑前地区中学校バドミントン大会
- 2 期 日 令和3年7月21日(水) 22日(木)
開館8:30 監督者会議9:00
- 3 会 場 那珂川市民体育館(那珂川市恵子 4-1-1 TEL 092-953-2112)
- 4 参加制限 ○団体戦………単一学校チームであること。(二複一単) ※単と複を兼ねることはできない。
(登録は、監督1名、コーチ1名、選手5~8名とする。)
筑紫区……6校、糸島区……3校、糟屋区……3校、宗像区……3校
○個人戦………単、複ともに兼ねて出場することはできない。
筑紫区……6名・6組、他区……3名・3組
- 5 競技方法 団体戦、個人戦ともにトーナメント方式とする。ただし、団体戦については初回戦のみ3試合とも行い、2回戦以降は2点先取法とする。
また、2コート同時に進行することもある。
- 6 競技規則 ①福岡県中学校バドミントン大会競技規則に準ずる。
②引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、筑前地区中体連に登録し承認を受けたものとする。
③使用球は日本バドミントン協会2種検定合格水鳥球(ヨネックスのエアロセンサ700③番)を使う。
④ゼッケンを背部につける。(右上図参照)
⑤ソックスは白を基調とし、くるぶしが完全に隠れるものとする。
⑥ウェアは、ショートパンツまたはスコートの中に必ず入れること。
(短シャツは不可、ハーフパンツは可とするが検定品のものに限る)
⑦頭髪や眉そりなどの違反がないこと。
- 7 申合せ事項 ①団体戦を1日目、個人戦を2日目に行う。午前に男子、午後に女子の試合を行う。
②開会式及び閉会式は行わずに、簡単な開始式及び表彰式を行う。また、開始式の前にマナーチェックを実施する。
③それぞれの競技終了後には、表彰式を行う。表彰式には、団体・個人上位4位までの選手は必ず参加すること。
④Jアラート等警報時は、ただちにプレーを中止する。なお、中止した時点のプレーはカウントしない。試合再開時は、中止した得点で再試合を行う。
⑤AED設置場所については監督者会議で確認する。
⑥別紙「新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン」を遵守する。
- 8 参加資格 筑前地区中学校総合体育大会参加資格「特別規定」による。
- 9 表 彰 団体・個人とも4位まで。(順位決定戦を行う)
- 10 申 込 み 各区の専門部長は、7月16日(火)までに大会結果をFAXにて下記まで申し込むこと。
出場校は、申込用紙(職印を押印の上)を大会当日に本部に提出すること。
大野城市立大野東中学校 〒816-0903 大野城市乙金台2-5-1
江口 秀和 TEL: 092-503-5101 FAX: 092-503-5183
- 11 専門委員 糸島: 中村 太一(志摩) 糟屋: 古川 正崇(須恵東)
筑紫: 江口 秀和(大野東) 宗像: 秦 由美子(津屋崎)
- 12 組み合わせ



女子の部



男子の部



新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

1 参加者に関する留意事項

- (1) 各学校で「健康チェック表」（自宅で検温）を記入し、受付時に提出する
- (2) 発熱もしくは、体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権時は、会場に行かず、各学校の顧問に電話等で連絡する）
- (3) 体育館への入場は、3密にならないように学校ごとに時間をずらす
- (4) 外履きは袋に入れ、自分で管理し、下足箱は使用しない
- (5) 試合以外では、マスクを着用する
- (6) ゴミは全て持ち帰り、自宅で処分する
- (7) 自身の試合・役割（敗者審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅する
- (8) 階段やギャラリーの手すりには、触れない

2 大会役員に関する留意事項

- (1) 入場前に入り口付近で密にならないように、各学校の待機スペースを設定し、入場時間もずらす
- (2) 入場後に手先のアルコール消毒および非接触型の体温計による検温を実施する
- (3) 入場の際に、発熱もしくは体調が優れない場合は、入場を拒否する
- (4) 開閉会式は、実施しない
- (5) 試合終了後には、審判用紙をはさむバインダー、シャープペン、シャトルの筒、これらを入れたかごのすべてを消毒する
- (6) 消毒をする際は、ビニル手袋をつけて行う
- (7) 試合に影響のない程度に換気をした状態で大会を実施する
- (8) 適宜、会場の巡回を行い、手すりや電気のスイッチ、トイレなどの消毒を行う
- (9) コーティングシートは、設置しない
- (10) 密をさけるために、組み合わせやタイムテーブルの貼付をしない

3 監督・コーチに関する留意事項

- (1) コーティングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う
- (2) ミーティング等においても3密を避け、極力屋外で行い、会話時にマスクを必ず着用するなどの感染防止対策に十分配慮する
- (3) コーティングシートは設置しないため、試合中はコート周辺の周辺で待機する

4 選手および応援の生徒に関する留意事項

- (1) 控室では、着替えのみとし、食事はしない
- (2) 控室・荷物を置く場所では、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。また、定員が設定されている場合は遵守する
- (3) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行う。
- (4) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う
- (5) ウォーミングアップは距離をあけて行う
- (6) コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する（移動の際は2m以上の間隔を空ける）
- (7) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）。
- (8) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- (9) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する
- (10) 汗をコート内やコートサイドに投げない
- (11) シューズの裏を手で拭かない
- (12) 意識的に試合中の声出しはしない
- (13) プレーヤー同士やコーチとハイタッチ、握手等の接触を行わない
- (14) 試合の前後には、各コートに備え付けてあるアルコールで手先の消毒を行う

5 審判員および係員に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、審判台は使用しない
- (2) 主審は、試合の前後にプレーヤーがアルコール消毒をしているか確認する
- (3) 主審は、支柱から最低でも1m離れて行う
- (4) 得点板の担当は、試合終了後には、備え付けのタオルを使用して得点板の消毒を行う
- (5) 試合で使用したシャトルは筒に戻さずに、そのままかごに入れる

6 観客に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、観客は参加校の監督およびコーチ、団体メンバーの選手、個人戦の出場選手、教職員のみとする（保護者、卒業生などの入場は禁止する）
- (2) 体育館への出入りの度に手先をアルコールで消毒する
- (3) 試合終了後、体育館を出る際は、本部にて準備したタオルとアルコールで、荷物を置いた場所を消毒する